

資料 1

令和 4 年 1 0 月 1 1 日

令和 4 年度幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業  
(幼稚園教諭免許法認定講習等の在り方に関する調査研究)  
実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

団 体 名 岐阜女子大学

所 在 地 岐阜市太郎丸 80 番地

代表者職氏名 学長 松川 禮子

幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業（幼稚園教諭免許法認定講習等の在り方に関する調査研究）実施計画書を提出します。

文書番号：岐女大第 2 1 0 号  
責任者名：齋藤 陽子  
担当者名：倉坪 弘一  
電話番号：058-229-2211  
メールアドレス：kuratubo@gijodai.ac.jp

## 1. 実施事業

新たな教師の学びの姿を実現するための質の高い効果的な免許法認定講習等の開発・実施

## 2. 事業の実施期間

委託を受けた日 ～ 令和5年3月31日

## 3. 事業の内容

(1) 選択するテーマ。※実施するテーマに○を記載すること。

(1) 開設・実施	(2) 新たな教師の学び		
	① オンライン等	② 現場の経験	③ 特色ある講習
○	○		

(2) 目的※現状及び事業実施を通して目指す姿を簡潔に記載すること。

社会、特に子どもを取り巻く環境が多様化し、幼稚園や認定こども園で幼児教育に携わる教員にもこうした状況に対応する資質・能力の向上が求められる。とりわけ、幼児教育の現場で中心的な役割を担う中堅層（ミドルリーダー）の果たすべき役割は大きい。しかし、中堅層の多くは2種免許状保有者である。岐阜県の現状（令和3年度）は、幼稚園教諭2種免許状保有者が幼稚園教諭の内83%を占め、1種免許状19%、専修免許状0.2%の保有者となっている。岐阜県教育委員会では、幼児教育を巡る様々な課題に対応する力を養うため、専修免許状や1種免許状の取得を促進することを課題としている。加えて、施設のニーズや教職員のキャリアステージに応じて研修内容を充実させることが大切であるとも考えを示している。

さらには、令和3年度に岐阜県・沖縄県教育委員会より幼稚園教諭の在職年数の短さ、園の中での教員をリードする中心的存在となりうる在職年数の教員の資質向上について課題があり、中堅層（ミドルリーダー）への研修や資質能力向上の機会が重要でることが指摘された。

これらのことより、幼稚園教諭の専門性を向上させるためには教育委員会の研修等で学ぶ教育の最新事情とともに、理論と実践を往還する内容が必要と言える。本免許法認定講習では、実務年数12年以上の幼稚園教諭の新たなキャリアとして目指す「幼児教育コーディネータ」を養成し、2種免許状保有者の専門性の向上を図り、上進を推進する。

(3) 事業概要

### ① 自律的なオンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計

新しい社会のGlobal・Innovationに対応した継続性を必要とした生涯学習の実現や将来の“afterコロナ”時代への対応も含め、対面授業を基本としつつe-learningを組み合わせたオンライン講座を実施する。そのためのインストラクショナルデザイン指導力を高めると共に、従来の講義形式から脱却し、教育リソースの整備とオンライン講座を融合した“教えないで学べる学習環境”の設計を行う。

### ② キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力の構造化

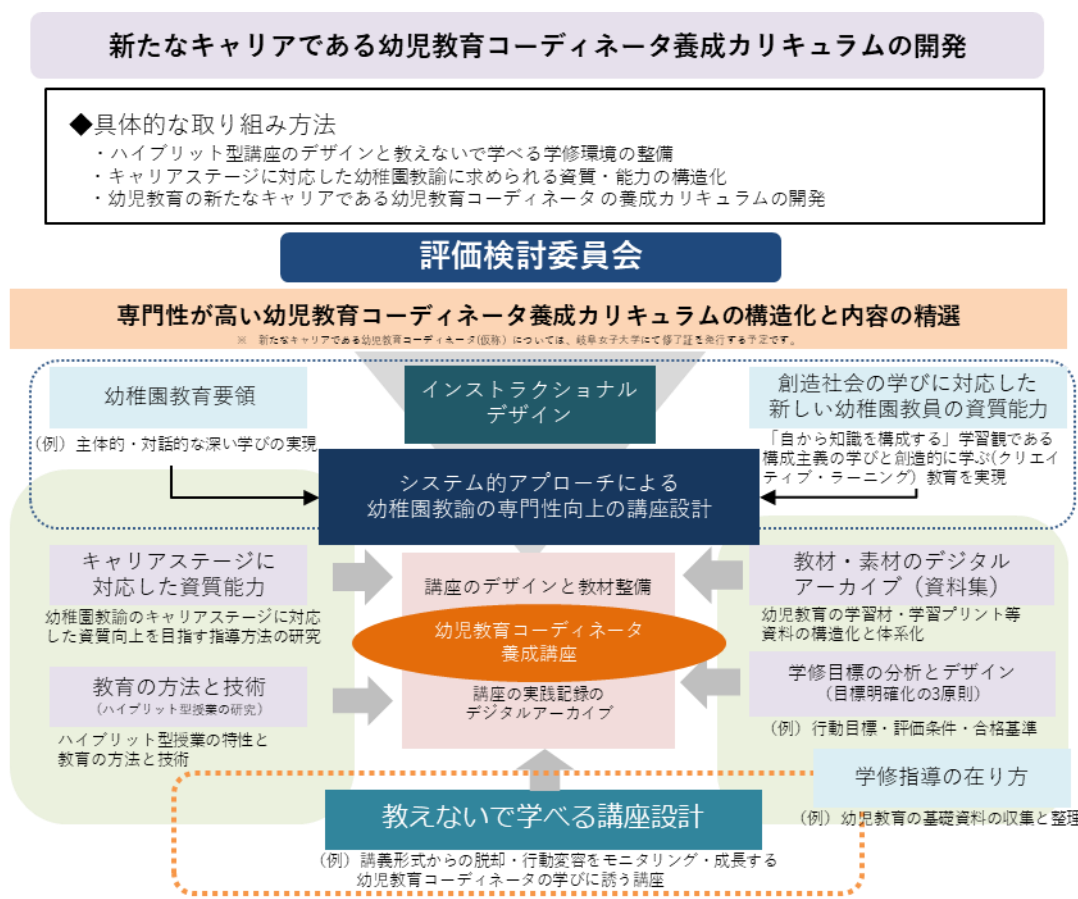
幼稚園教諭として不易とされる資質能力と新たな課題に対応できる力並びに組織的・協働的に諸問題を解決する力を中心にキャリアステージに対応した幼稚園教諭の資質・能力を明確化し、オンライン講座の学習目標の再定義と構造化を図り、資質・能力とのカリキュラムマップを作成する。同時に講座のタキソノミーテーブルを作成する。このタキソノミーテーブルは、各科目・各講において担当教員により、学習到達目標並びに学習課題を設定し、これらの課題を各担当教員によりタキソノミーテーブルに分類している。これらを基に、各担当教員がタキソノミーテーブルを作成する。

### ③ 幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成カリキュラム構造化と内容の精選

教員自身が時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、その時々状況に応じた適切な教育・保育の提供を行うためには、個々の教員が自ら課題を持って、主体的に講座に参加する体制の確立が必要である。

また、幼稚園教諭2種免許状から1種免許状の上進におけるインセンティブを高め、受講者が自律的に学ぶオンライン講座を考えていく必要がある。

そこで、幼稚園教諭の資質向上を目指すキャリアステージにおけるオンライン講座の在り方を研究し、幼児教育の新たなキャリアとして目指す「幼児教育コーディネータ」の養成カリキュラムを開発・試行する。



### ④ 「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施（幼稚園教諭2種免許状から1種免許状に上進する認定講座の開設）

幼稚園教諭の資質向上を目指し、幼児教育の新たなキャリアステージとして目指す「幼児教育コーディネータ」を養成し、2種免許状保有者の専門性の向上を図

り、上進を推進する。そのために、次のとおり「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施（幼稚園教諭2種免許状から1種免許状に上進する認定講座の開設）をする。

ア. 受講対象

次の①～③に該当する方

- ① 幼稚園教諭2種免許状所持者で、基礎資格となる免許状を取得した後、幼稚園（特別支援学校の幼稚部及び幼保連携型認定こども園を含む）における教員として在職年数が、12年以上の方
- ② 幼稚園教諭1種免許状並びに専修免許状の所持者でスキルアップを目指す方
- ③ 幼稚園教諭に勤務し、管理職・マネジメントの職務についている方

イ. 開講科目数並びに総時間数

7科目(10単位) 77時間 ※7科目全て受講が必要

- ①遊びと文化Ⅰ            ②遊びと文化Ⅱ    ③保育内容（表現）    ④教師論
- ⑤教育の方法・技術    ⑥幼児理解            ⑦教育相談Ⅰ

ウ. 科目の単位修得条件

各科目の試験またはレポートによる最終試験を合格

エ. 開講方法・定員

○3期制とする 第1～3期（60名定員/期）

- ・第1期 講習受講期間 6月10日～9月10日
- ・第2期 講習受講期間 8月10日～11月10日
- ・第3期 講習受講期間 10月10日～1月10日

○土日・祝日の開講

※令和3年度実施の認定講習における受講者アンケートにおいて、土日・祝日だと「働きながら受講できるので、大変良かった」と好評を得ている

○対面授業とe-Learningを組み合わせた講座

「幼児教育コーディネータ」は、大学での幼稚園教諭免許状取得段階のキャリアステージにおいて「初級幼児教育コーディネータ」、実務経験12年以上のキャリアステージにおいて「幼児教育コーディネータ」、管理職やマネジメントの職務に就くキャリアステージにおいて「上級幼児教育コーディネータ」と位置づけている。

**4. 実施日程（予定）**

実施時期	活動の内容		
	実施内容	評価	評価検討委員会
令和4年4月～ 令和4年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン講座で利用するテキスト類の作成</li> <li>・オンライン講座で利用する動画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育コーディネータの学習目標の再定義</li> <li>・キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質・能力の構造化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価検討委員会委員依頼委員への概要説明</li> </ul>
令和4年4月～ 令和5年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省免許法認定オンライン講習の実施</li> <li>・幼児教育コーディネータの養成オンライン講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生による授業評価の実施</li> <li>・資質・能力の変容的評価の実施</li> </ul>	
令和4年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省免許法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期授業者によ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回評価検討委</li> </ul>

	認定オンライン講習の委員等への公開（対面授業・e-learning）	る自己評価 ・評価検討委員による外部評価	員会
令和5年2月	・事業報告会の実施 ・報告書の作成	・第2・3期授業者による自己評価 ・評価検討委員会による外部評価	・第2回評価検討委員会

## 5. 実施体制（予定）

### （1）主な実施体制

#### ① 評価検討委員会（外部有識者による委員会）

##### 【委員】（予定）

メンバー 5名

主査	平田美紀	沖縄女子短期大学	学長	（幼児教育）
	當山 健	与那原町教育委員会	教育長	（教育行政）
	中村有希	岐阜県教育委員会	教職員課長	（教員研修）
	岡本智子	岐阜市幼児教育課	課長	（教育行政）
	渡辺寿之	サニーサイドインターナショナル幼稚園	園長	（幼児教育・実務）

##### 【活動内容】

- 1) オンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計の評価
- 2) キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質・能力の構造化
- 3) 幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成カリキュラムの構造化と内容の精選（幼稚園教諭2種免許状から1種免許状の上進講座との融合）

#### ② 実施事務局

##### 【構成】

主査	横山隆光	教授	（教育工学）	文化創造学部長
	久世 均	教授	（遠隔教育）	遠隔・通信教育部長
	齋藤陽子	准教授	（教育工学）	公開講座担当
	中島法晃	講師	（幼児美術）	学長補佐
	三尾寛次	教授	（教育経営）	初等教育学専攻主任
	奥村正彦	准教授	（幼児教育）	幼児教育実務経験者
	吉村希至	准教授	（教師教育）	授業担当
	佐々木恵理	准教授	（臨床心理）	授業担当
	眞喜志悦子	講師	（教育工学）	授業担当
	倉坪弘一	事務局事務職員	・次長	
	渡辺好美	文化情報研究センター事務職員	・通信教育事務課長	
	林 真子	文化情報研究センター事務職員	・遠隔通信事務係長	
	大木佐智子	文化情報研究センター事務職員		

##### 【活動内容】

- 1) 幼児教育コーディネータのカリキュラム設計と実施
- 2) 幼児教育コーディネータ e-learning 教材作成
- 3) 幼児教育コーディネータの評価分析
- 4) 幼児教育コーディネータの需要調査と分析

### ③ 協力体制

評価検討委員会を中心に、実施事務局に設置した大学教員グループが講習内容を大学事務局グループが運営を担当する体制をとる。また、遠隔テレビ会議システムによる講座の実施をすることから、本学沖縄サテライト校と本学文化情報研究センターを事業推進の拠点とする。

本事業の協力機関として、岐阜県、岐阜市、沖縄県、および与那原町教育委員会、並びに本学と姉妹校協定を締結している沖縄女子短期大学、本学の教育実習等で関係の深い協力関係にある幼稚園等の協力を得て、幼稚園教員の資質向上に資する講習体制を構築する。

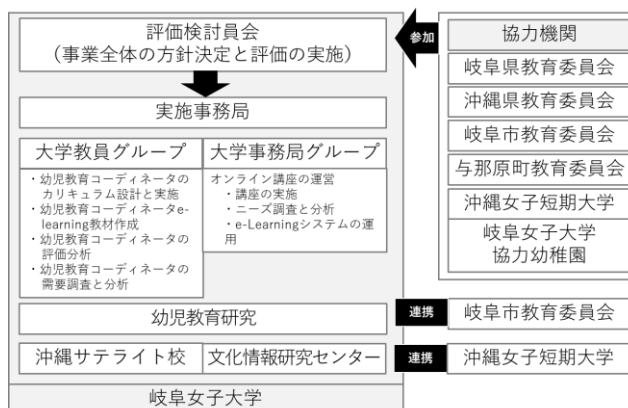


図2. 講座実施のための協力体制

、本学の教育実習等で関係の深い協力関係にある幼稚園等の協力を得て、幼稚園教員の資質向上に資する講習体制を構築する。

#### （2）大学・教育委員会の連携、域内の既存開設講習との関係等

本講習の対象である岐阜県、岐阜市、沖縄県および与那原町教育委員会においては、講習の開設とその内容の評価と検討について協力を得られることとなっている。

岐阜県教育委員会は、第三次教育ビジョンと岐阜県幼児教育アクションプランで示された幼稚園教諭の資質および専門性の向上を図る手段として、本免許状認定公開講座への連携協力する体制（免許状上進に関わる支援を教職員課、認定講習のコンテンツに関しては学校支援課、教育研修課）を構築している。

岐阜市教育委員会とは幼児教育に関する連携協力体制を取ることを令和2年度に合意し、幼児教育研究（実践研究・教材開発研究等）や幼稚園教諭の研修、保護者対象の講座開設などで協働する実施する協議を進めている。本講習についても連携協働体制をとることで合意されている。さらに、令和2年2月3日に岐阜市との間で、地域活性化に関する包括連携協定を締結している。

沖縄県教育委員会とは令和2年度「幼稚園教員免許科目等履修公開講座」で協力体制を構築している。

また、本学と提携関係にあり、幼児教育の実践のある沖縄女子短期大学からも授業の共同実施や沖縄県と沖縄女子短期大学の所在する与那原町の事情の助言などの協力を得られることとなっている。

#### （3）その他関係機関との連携体制及び内容（団体等）

本学の学生の教育実習を実施している協力幼稚園と連携し、幼稚園での教育活動とおしてアンケートや聞き取り調査を実施し、その点検評価により働く幼稚園教諭のニーズにあった講習内容とする。

#### （4）文部科学省との連絡担当者※本事業の連絡窓口となる担当者を記載してください。

①所属	岐阜女子大学
②所在地	岐阜市太郎丸 80
③担当連絡先	TEL:058-229-2211 内線 285 FAX: 058-229-2222 E-mail:itihasi@gijodai.ac.jp
④担当者職・氏名	学事部長 市橋正信

<再委託の内容>

- (1) 再委託先の名称  
なし

- (2) 再委託の内容  
なし

## 6. 免許法認定講習等の開設実績

本学は、新たな免許状を取得するための講習を毎年実施している。2019年度の開設講習数は8講座、開設科目は延べ70科目、受講者延べ数417名であり、2020年度はコロナ禍で対面授業を中心に中止したが、延べ348名の受講を、2021年度は、2020年度同様コロナ禍で、通信制教育を主として実施し、延べ317名の受講を見た。

幼稚園教諭免許状に関しては、「特例制度における保育士資格所有者のための幼稚園教諭免許科目履修講座」をはじめ、2019年度は新たに沖縄サテライト校への要望を受けて、5月に「幼稚園教諭二種免許状所有者のための幼稚園教諭免許科目履修講座」を開設した。後者は、2020年度は沖縄県の幼稚園の管理職を主な対象とした講座として開講した。

講習名	開設 科目数	受講者数(人)			
		2021	2020	2019	2018
文部科学省大学院免許法認定講座	15	中止	中止	103	84
〃大学院免許法認定講座(通信)	9	237	169	87	70
大学院科目履修講座	15	中止	中止	2	18
大学院科目履修講座(通信)	9	7	4	0	10
小学校教諭免許科目履修講座	21	中止	中止	121	128
中学校二種(英語)科目履修講座	9	中止	中止	29	11
(特例)保育士資格所有者のための幼稚園教諭免許科目履修講座	6	中止	中止	40	53
(特例)幼稚園教諭免許所有者のための保育士資格科目履修講座	4	13	中止	21	45
幼稚園教諭二種免許状所有者のための幼稚園教諭免許科目履修講座	6	60	175	14	—

## 7. 本事業における定性的又は定量的な成果目標

- (1) 講習の内容が幼児教育理論と実践のバランスのとれたもので、幼稚園教諭の資質向上に貢献することができる。

【指標】

- ・受講者の授業評価で「専門性の向上」、「授業内容の満足度」を示す質問項目について、80%以上の肯定的な評価を得る。
- ・評価検討委員会の委員による評価で、肯定的な意見を得る。

- (2) 講習の日程や開設科目数が、受講者の免許上進への期待に合い、受講するにあたって負担感の少ない講習となっている。

【指標】

- ・受講者の授業評価で、「講習の日程や本講習での上進に必要な年数と科目」に関して、本講習が80%以上の肯定的な評価を得る。
- ・評価検討委員会の委員による評価で、肯定的な意見を得る。

- (3) 講習の内容が、現代的な要請と幼児教育の現場のニーズに合った内容で、現場で役立てることができる。

【指標】

- ・受講者の授業評価で、「講習が現場で役立てる内容」とする質問項目について、80%の肯定的な評価を得る。
- ・評価検討委員会の委員による評価で、肯定的な意見を得る。

- (4) オンライン講座による学修が受講者のニーズに合ったもので、仕事と両立して学ぶことができた講習となっている。

【指標】

- ・受講者の授業評価で「オンライン講座が有意義であった」「オンライン講座

で受講しやすかった」とする質問項目で、80%以上の肯定的な評価を得る。

- ・評価検討委員会の委員による評価で、肯定的な意見を得る。

(5) 幼児教育コーディネータの養成が、幼稚園教諭2種免許状から1種免許状の上進へのインセンティブになる。

【指標】

- ・受講者の授業評価で「幼児教育コーディネータの養成が有意義であった」「幼児教育コーディネータの養成が受講のインセンティブとなった」とする質問項目で、80%以上の肯定的な評価を得る。
- ・評価検討委員会の委員による評価で、肯定的な意見を得る。



(別紙1)

令和4年度 幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業  
(幼稚園教諭免許法認定講習等の在り方に関する調査研究) 実施計画書

開設する認定講習・公開講座・通信教育

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名(授業科目名)	科目の概要	授与単位	講義・実験等時間数及び履修期間	成績審査の方法 ①合格に必要な出席時数 ②成績審査方法 ③評価段階(可否区分)	受講定員数	学級数
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域						
幼一	×	領域	領域及び保育内容の指導法に関する科目	遊びと文化 I	幼児期に遊ぶ「折り紙」や身近にある「紙コップ」や「紙皿」などを使い、動くおもちゃを作る。その過程を通して、幼児に身に付けさせる力を考え、それを指導するための方法を創造し、考案する。	1	講義 13時間 演習 2時間	①12時間以上 ②レポート ③ABC:合格, D:不合格	180(人)	3
幼一	×	領域	領域及び保育内容の指導法に関する科目	遊びと文化 II	幼児が安定した確かな作品ができるか等の視点を定め、幼児の学びのプロセスの評価方法を考える。評価方法として行動分析等を活用	1	講義 8時間 演習 7時間	①12時間以上 ②レポート ③ABC:合格, D:不合格	180(人)	3

						して、評価し改善・指導できる力の深化を図る。					
幼一	×	領域	領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	保育内容（表現）	子どもの日々の表現を捉え、共感し育む幼稚園教育要領領域「表現」の考えを再度整理して理解し、「子どもの表現」の基本的な考えを応用し、より専門的に理解を深める。その際には、クリエイティブ・ラーニングの考えに基づき、子どもが創作物「紙芝居」を創ることにより学ぶことができる方法を考案する。	2	講義 20時間 演習 10時間	①24時間以上 ②レポート ③ABC：合格，D：不合格	180 (人)	3
幼一	×	教職	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）	教師論	教師は、学習者がその成長・発達に必要な「生きる力」を身に付けることができるよう、学習内容や学習活動の特質、幼児児童生徒の実態に	2	講義 30時間	①24時間以上 ②レポート ③ABC：合格，D：不合格	180 (人)	3

					応じた適切な指導ができなければならない。幼児教育における教師の役割と責務について理解を再度整理することで、深め、教育者としての資質・能力を深化させる。					
幼一	×	教職	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)	教育の方法・技術	2	講義 30時間	①24時間以上 ②レポート ③ABC:合格, D:不合格	180 (人)	3
					現在決まった答えのないグローバルな課題に対して、大人も子供も含めた重層的なコミュニティの中で、ICTを駆使して一人ひとりが自分の考えや知識を持ち寄り、交換して考えを深め、統合することで解を見出し、その先の課題を見据える社会へと、社会全体が転換しようとしている。ここでは、その高度情報社会とそれに応じて求められる資質や能力に					

						ついて考 え、その力 の基礎を培 う幼児教育 の方法を創 造する。					
幼一	×	教職	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	幼児理解	幼児の特性と発達について改めて確認するとともに、より深く幼児を理解する保育記録の方法について見識を深め、自己省察や園内研修へ活かす手立てについてさらなる理解に導く。幼稚園教育要領をベースに、専門性の向上及び園内研修の意義や保護者支援について理解を深化する。	1	講義 15時間	①12時間以上 ②レポート ③ABC：合格，D：不合格	180 (人)	3
幼一	×	教職	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談 I	教育相談や発達相談，子育て支援を行う意義について、再度し整理理解を深め、教育相談を推進することができるような	1	講義 15時間	①12時間以上 ②レポート ③ABC：合格，D：不合格	180 (人)	3

		指導、教育相談等に関する科目		組織づくりや計画・評価についてこれまでの実践を振り返る。幼児・児童生徒が抱える課題を理解し、個に応じた支援及び環境調整への配慮について理解を深め意識を高める。					
--	--	----------------	--	---	--	--	--	--	--